



## 共に前へ

吉岡 康子 女子短期大学宗教主任

「共に生きる」ことをあらゆる場面で大切にしてきた女子短期大学にとって、分断ではなく、繋がりを続けることにさまざまな形で挑戦し、新しい出会い、学び、発見が与えられたことが思いを超えた恵みでした。「ステイホームのみなさんへ」と題したショートメッセージを多くの方々のご協力により配信しました。

また短大被災地支援ボランティアチーム Blue Birdと大学の公認愛好会MF3.11 東北応援愛好会が中心となり、宮古市と共催して「熊本にエール！ 宮古-青山-熊本 オンラインジャズコンサート」を9月7日に開催し、翌8日にはオンラインシンポジウム「共に前へーコロナ禍時代の傷と絆」を実施しました。

第一部「コロナ禍における災害のケア」には、宮古市長・山本正徳氏、前熊本県知事・潮谷義子氏、青山学院大学卒業生で現在三井記念病院医師をされている白杉由香理氏をシンポジストにお迎えし、宮古、熊本の被災から復興への取り組みや課題、医療現場の最前線の状況などをとおして、コロナウイルス感染拡大のなかで私たちが何を知り、どの様に行動をすべきかにつき多くを教えてくださいました。

第二部は「地域活性化の現状と課題」をテーマに、青山学院卒業生で短大ボランティアのサポーターである加藤洋一郎氏や熊本ルーテル学院大学のボランティアグループの学生も参加し、コロナ感染拡大の状況下にある支援活動のあり方などにつきディスカッションをし、多くのよき学びの機会となりましたことを感謝いたします。



## 重要な決断は…

塩谷 直也 大学宗教部長

ネット上で素敵な商品に出会い、そのままクリックして購入に進もうとした際、「やっぱり商品を手にしてから考えよう」と思い直し、取扱店にまで行ってお目当ての商品に触れて確認します。すると「あれ、思っていたのと違う…」と気づかされ、一気に熱が冷めたということがありました。

大学は長期化するオンライン授業に可能性を見出しつつあります。しかし同時に「あれ、思っていたのと違う…」という状況も増えました。そこから言えることは、「重要事項であればあるほどオンライン上だけでは決定し

ない」ということです。私たちはオンラインで限らない情報を取得できます。しかしそれだけで全てがわかったつもりになり、重要な決断までクリック一つで済ませるのは危険です。手間暇かけてでも出向き、見て聞いて触れて、判断すべき事柄があります。

その最たるものが人を信頼するという決断です。だから学生の皆さん、「あなたに書くことはたくさんありますが、インクとペンで書こうとは思いません。すぐにでもあって親しく話し合いたいものです。」（第3ヨハネ 13～14節）そして一日も早く、「知識の伝達」ではなく「信頼関係」を築ければと願っています。

## 編集後記

今号の『Wesley Hall News』には、コロナ禍にあっても力強く歩む園児や児童、生徒、学生たち、そして保護者や教職員の姿が記されています。それぞれの文章を読むことにより、聖書の御言葉が一人ひとりに生きる勇気と希望を与えていることを知ることができました。青山学院を巣立って行く卒業生たちが、どのような時もイエス・キリストの教えに拠って立ち、「地の塩、世の光」として豊かな活躍をされることを祈ります。

(大学宗教主任 高砂 民宣)

Wesley Hall News 第135号 2021年3月1日発行

発行 青山学院宗教センター 学院宗教部長 大島 力

東京都渋谷区渋谷4-4-25

TEL.03-3409-6537(ダイヤルイン)

〈URL〉<http://www.aoyamagakuin.jp/rcenter/index.html>

〈E-mail〉[agcac@aoyamagakuin.jp](mailto:agcac@aoyamagakuin.jp)

編集 ウェスレー・ホール・ニュース編集委員会

印刷 株式会社 万全社